

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1交通安全の推進	B	交通事故による死者数ゼロの継続は途切れたものの、目標値である交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備の効果が上がっているといえます。	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。
2防犯対策の充実	C	市民満足度の指標は低く、成果指標も達成がされていないことから、安全・安心に生活できる環境整備はまだ十分ではない状況です。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。
3消費生活の安全確保	B	日々新たな手口や商法が生みだされている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。	市民の消費生活の安定及び向上を目指します。
4省エネの推進・新エネルギー導入促進	B	<p>新庁舎建設事業では、石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み、地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。</p> <p>【太陽熱や地中熱などの”再生可能エネルギー”を利用した外気の予冷システム、二重屋根の温度上昇を利用した建物内の自然換気(温度差換気)、庁舎内に自然光を取り込む(ライトウェル)、雨水の有効活用、夜間に外気を建物内に導入して躯体を冷却し、昼間の空調負荷を低減する(ナイトパージ)等】</p> <p>一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。</p>	<p>新庁舎建設事業では、環境に配慮した庁舎とし、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため、新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では、省エネ・節電についての意識啓発に取り組み、尚一層の推進を図ります。</p>
5上水道の整備	C	<p>水道事業では、現状の有収率向上の為に漏水調査の取り組みについては若干の効果が認められます。しかし老朽化に伴う更新については財源、人材ともに乏しく十分な更新が出来ているとは言い難い状況です。</p> <p>一方簡易水道事業では、平成28年10月に予定される湖北水道企業団との統合に必要な配水管整備工事は完了しました。現在は湖北水道企業団及び関係各課で統合に向けた事務調整を継続中です。安全な水道水を安定的に供給できる強靱な水道事業を目指します。</p>	<p>水道事業では、安全で安定した水道水を供給するため、又、湖北水道との統合を考慮し、老朽化施設等の効率的な更新を行います。簡易水道事業では、市は統合後も、簡易水道事業区域の安全、安心で安定した水の供給が実施されること及び湖北水道企業団の安定した経営が図られることを配慮する必要があります。</p>

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6循環型社会の構築	C	<p>環境監視員の活動により不法投棄の早期発見につながっています。</p> <p>1人当たりの年間ごみ排出量については、引き続き排出段階時におけるごみの減量化について周知方法や取り組みを検討していきます。</p>	<p>さらなるごみの減量化やリサイクル推進のため、市民に関心を持ってもらえるよう広報の充実を図っていきます。</p>
7環境保全の推進	B	<p>霞ヶ浦浄化対策経費は、霞ヶ浦の水質環境を保全するため、流入する河川水質等の分析を行い、また公害対策経費は、公害等、問題が発生した時に各種調査・分析を行う等地域の環境を守るための経費です。現状の検査結果等では異常値はないことから環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。一方 身近なみどり整備推進事業では、市民提案を受け、これまでに約52haの整備が実施されています。また、森林の間伐においては、概ね石岡市森林整備計画に沿った整備が進んでいます。</p>	<p>未だ下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽設置補助等が整備・導入されていない地域があることから、流入する水質を浄化するため、各地域における啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。石岡市森林整備計画に基づき荒廃した森林の間伐を実施していきます。また、平地林においては、身近なみどり整備推進事業を活用し、市民提案による整備を支援します。</p>
8協働によるまちづくりの推進	B	<p>石岡市協働のまちづくり条例施行後、協働のまちづくり備品貸出などの協働のまちづくり推進事業をすすめる、協働の機運醸成を図っています。</p>	<p>常に協働によるまちづくりを意識し、ひざを交えてパートナー(市民)と話し合いながら、市民活動に参加しやすい環境づくりを進めていきます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	石岡市民の交通安全意識の向上（街頭キャンペーン） 民間交通指導員の設置

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	交通事故による死者数ゼロの継続は途切れたものの、目標値である交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備の効果が上がっているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

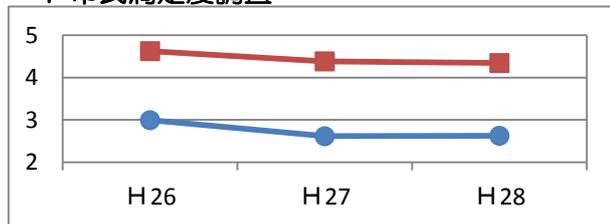
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費【まちづくり推進課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	8 (H22)	0	1
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	300 (H22)	270	267
【参考指標】 民間交通指導員数	民間交通指導員の委嘱人数	人	47 (H22)	50	44

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	4.62
平成27年度調査	2.61	4.38
平成28年度調査	2.62	4.34

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

<h1>C</h1>	評価コメント
	市民満足度の指標は低く，成果指標も達成がされていないことから，安全・安心に生活できる環境整備はまだ十分ではない状況です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

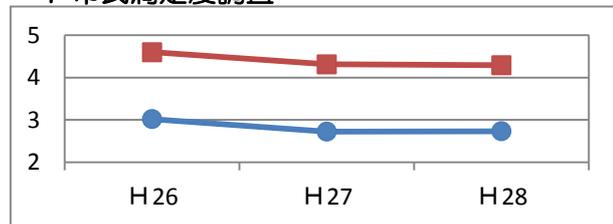
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業【まちづくり推進課】	エンゼルパトロール（無償ボランティアによる防犯パトロール）会員の登録者の増加を図ります。
街路灯・防犯灯事業【まちづくり推進課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	207 (H24)	660	472
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	986 (H22)	1,000	866
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	983 (H22)	830	950

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.02	4.60
平成27年度調査	2.72	4.31
平成28年度調査	2.73	4.29

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

B	評価コメント
	日々新たな手口や商法が生みだされている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民の消費生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

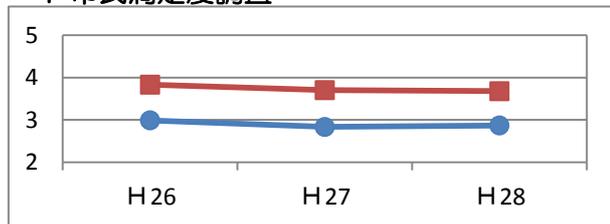
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【まちづくり推進課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
相談件数	消費者トラブル等相談	件	399 (H22)	270	427
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	4 (H22)	7	5
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	341 (H22)	250	387

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.83
平成27年度調査	2.83	3.70
平成28年度調査	2.87	3.68

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>新庁舎建設事業では，石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み，地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。</p> <p>【太陽熱や地中熱などの”再生可能エネルギー”を利用した外気の予冷システム，二重屋根の温度上昇を利用した建物内の自然換気(温度差換気)，庁舎内に自然光を取り込む(ライトウェル)，雨水の有効活用，夜間に外気を建物内に導入して躯体を冷却し，昼間の空調負荷を低減する(ナイトバージ)等】</p> <p>一方省エネルギーの推進では，市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>新庁舎建設事業では，環境に配慮した庁舎とし，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため，新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。</p>

2 主要事業の概要

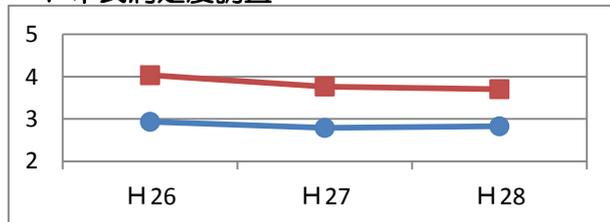
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	本庁舎は，老朽化や，東日本大震災により被災し，現在，5棟の仮設庁舎を建設し，そこで業務を行っています。そのため，防災拠点としての機能を十分に果たせず，また来庁者に不便を来していることから，新庁舎の建設を進めます。
省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進【生活環境課】	市の施設においてエネルギー使用の合理化を図り総合的かつ効果的に推進するための協議組織を立ち上げ，エネルギー使用量5年間で5%以上削減(原油換算)を達成しています。しかし，前年度比においてはやや増加している状況でもあるため，引き続き削減目標の達成を継続していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量5年で5%以上削減(原油換算)	kl	3,590(H21)	3,410(H26)	3,187
市の施設における新エネルギーの導入件数	市の施設における新エネルギーの導入件数	件	1(H23)	2	1
意識啓発活動	環境学習等の実施回数	件	0(H24)	2	1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.93	4.03
平成27年度調査	2.79	3.77
平成28年度調査	2.83	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新や整備，安定供給のための経営の効率化

1 総括評価

<h1>C</h1>	評価コメント
	水道事業では、現状の有収率向上の為の漏水調査の取り組みについては若干の効果が認められます。しかし老朽化に伴う更新については財源、人材ともに乏しく十分な更新が出来ているとは言い難い状況です。 一方簡易水道事業では、平成28年10月に予定される湖北水道企業団との統合に必要な配水管整備工事は完了しました。現在は湖北水道企業団及び関係各課で統合に向けた事務調整を継続中です。安全な水道水を安定的に供給できる強靱な水道事業を目指します。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	水道事業では、安全で安定した水道水を供給するため、又、湖北水道との統合を考慮し、老朽化施設等の効率的な更新を行います。簡易水道事業では、市は統合後も、簡易水道事業区域の安全，安心で安定した水の供給が実施されること及び湖北水道企業団の安定した経営が図られることを配慮する必要があります。

2 主要事業の概要

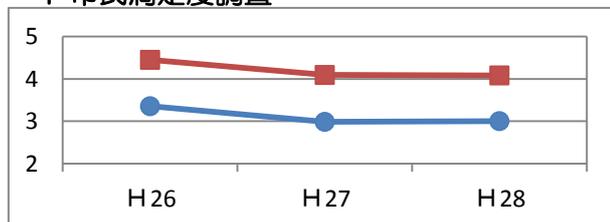
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
水道事業会計（総括）【水道課】	高料金対策及び統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費について、地方公営企業繰出金について、（総務省自治財政局長通知）に基づき繰出すことにより、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っています。
簡易水道事業会計（総括）【生活環境課】	三村地区簡易水道の配水施設を、国庫補助金の活用により更新し、湖北水道企業団との統合に向けて整備します。先行して、配水施設の設計、工事の管理監督業務等を水道業務に精通している湖北水道企業団に委託しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
有収率	有収水量÷配水量	%	76 (H22)	85	75.89

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.35	4.45
平成27年度調査	2.99	4.09
平成28年度調査	3.00	4.08

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみの減量化・リサイクルの推進，環境監視委員によるパトロール

1 総括評価

<h1>C</h1>	評価コメント
	環境監視員の活動により不法投棄の早期発見につながっています。 1人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について周知方法や取り組みを検討していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	さらなるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

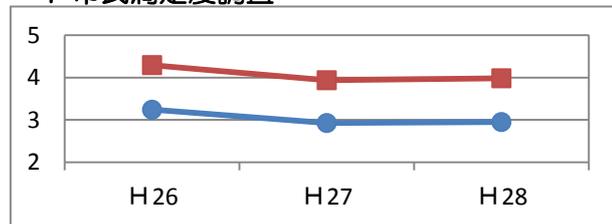
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには，新規の登録団体や実施回数を増やすとともに，広報紙等による周知活動が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	4.16 (H22)	15	17.83
1人当たりの年間ごみ排出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	323 (H22)	322	346
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	2,937 (H22)	2,307	1,855
【参考指標】1日1人当たりのし尿汲み取り量	1日1人当たりのし尿汲み取り量	l	0.12 (H26)	0.11	0.10

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.24	4.29
平成27年度調査	2.93	3.94
平成28年度調査	2.95	3.98

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

B	評価コメント
	霞ヶ浦浄化対策経費は、霞ヶ浦の水質環境を保全するため、流入する河川水質等の分析を行い、また公害対策経費は、公害等、問題が発生した時に各種調査・分析を行う等地域の環境を守るための経費です。現状の検査結果等では異常値はないことから環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。一方、身近なみどり整備推進事業では、市民提案を受け、これまでに約52haの整備が実施されています。また、森林の間伐においては、概ね石岡市森林整備計画に沿った整備が進んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	未だ下水道や農業集落排水，合併処理浄化槽設置補助等が整備・導入されていない地域があることから、流入する水質を浄化するため、各地域における啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。石岡市森林整備計画に基づき荒廃した森林の間伐を実施していきます。また、平地林においては、身近なみどり整備推進事業を活用し、市民提案による整備を支援します。

2 主要事業の概要

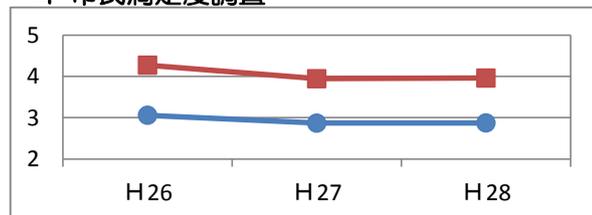
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	工場への立入検査や河川・池沼等の水質の常時監視を継続して実施しています。基準値超過箇所については改善要望や注意喚起などを行うことにより、公害防止と快適な生活環境の保全に寄与しています。今後も引き続き市民の健康の保護と生活環境の保全に努めるため、必要な調査を行い、調査の結果に基づき適切な指導を実施していきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	国、県に本事業の維持及び拡大を要望し、本事業の推進に努めます。
公害対策経費【生活環境課】	不法投棄された箇所等の水質調査を行い安全を確認しているものの、この分析をいつまで継続するか明確な基準がないため検討をしていくことが必要です。自動車騒音監視業務においては、評価対象路線においては環境基準を満たしていますが、引き続き評価を実施していくことが必要です。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	生活圏に近い荒廃した森林を整備することで、安全な地域環境を創出していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
霞ヶ浦（西浦）のCOD	霞ヶ浦（西浦）におけるCODの年平均値（湖沼水質保全計画6期）	mg/l	8.7 (H22)	7	7.8
公害苦情受理件数	大気汚染，水質汚濁，騒音・振動，悪臭等に関する年間苦情件数	件	18 (H22)	15	13
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を実施する箇所数	箇所	0	2	0
水洗化普及率（合併処理浄化槽）	水洗化済人口／処理区域人口	%	18.4 (H24)	20.5	20.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.06	4.27
平成27年度調査	2.87	3.94
平成28年度調査	2.87	3.96

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進，まちづくりについての情報発信

1 総括評価

B	評価コメント
	石岡市協働のまちづくり条例施行後，協働のまちづくり備品貸出などの協働のまちづくり推進事業をすすめ，協働の機運醸成を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー(市民)と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めていきます。

2 主要事業の概要

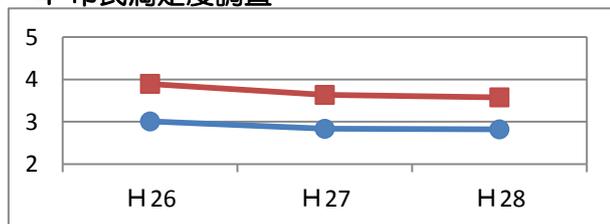
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【まちづくり協働課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により，現在市民と協力し，行われている事業を分析し，その事業の発展向上を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・HPへの掲載事例数	事例	3	10	9

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.89
平成27年度調査	2.83	3.63
平成28年度調査	2.82	3.58